



題字 (故) 林 邑一

第42号

平成19年3月15日
阿品台地区コミュニティーをすすめる会
事務局 (TEL39-4338)
阿品台地区人口世帯数
平成19年1月現在
人口9,422 男4,414人 女5,008人
世帯数3,487世帯
高齢化率16.3% (市20.0%)

「おはようございます」「こんにちは」

毎日元気の声で あいさつ運動

阿品台のみんなが気軽に挨拶し合えるそんな町をめざして
多くの人が朝早くから頑張っています。

コミュニティ会長 山本治喜

人が集い、人が行き交う、人が逢う、人が別れる、更に人を見送る、朝起きる、夜は寝る、私達の生活のなかで、他人との接触や別れや交流がずっと続いております。こんな時に人々は挨拶を考え出し、挨拶をし続けています。これが人間社会での普通の関係です。

もしも大人の社会で、挨拶が欠けたら大変な事になります。非常識となります。阿品台ではニュータウンと言った頃から、それまでは全く知らなかった人達に移り住んで来ました。此処を自分達の住処にし、子ども達が集い、人が行き交う、人が逢う、人が別れる、更に人を見送る、朝起きる、夜は寝る、私達の生活のなかで、他人との接触や別れや交流がずっと続いております。こんな時に人々は挨拶を考え出し、挨拶をし続けています。これが人間社会での普通の関係です。

も達の故郷にしようと、今日まで努めて参りました。

だから知らない人でも挨拶することが大事な事を体得しました。更に歳を取り感じますのは、今までお世話になり、馬鹿を言い合った間の人、暫く逢わないと、「誰だったかな」、名前が出てこない事が有るのです。所謂、年寄りの惚けと言うのでしょうか。そこで挨拶、「お早う、今日は、お元気ですか」の声が大事になります。

挨拶は心を覚ます 惚け防止

挨拶は若さ励ます 道しるべ

青少年部長 長谷川 子

あいさつ運動を始めたきっかけは平成13年6月に起きた「池田小事件」でした。事件をきっかけに、不審者から子どもを守るには地域全体で子どもを見守って欲しいと願う様になりました。まず「地域で守ろう子ども」の安全 登下校の子どもに声掛けを」の横断幕16枚を阿品台中学校区に設置しました。しかし行動が伴わないと本当に子どもの安全を守るこ



とにはなりません。翌年あいさつ運動を立ち上げるため、児童民生委員の方々の協力を得て、月2回水曜日に阿品台公民館横の横断歩道に2名ずつ、7時45分から8時15分までの30分間、登校する小中学生に「おはよう」と声をかけることから始めました。

そして4月に公民館便りと一緒にあいさつ運動の協力を呼びかける文書を全戸配布をお願いしたところ、8名の協力の申し込みがあり、それまでの隔週から毎水曜日にあいさつ運動ができる様になりました。それから毎年協力をお願いを配布していますが、今では朝立ってくださる方が21名になり、六ヶ所で出来る様になりました。熱心な方は都合のつく限り毎日立って下さっています。年に一度夏に懇親会を持ち、意見交換をし、校長先生にも来て頂き地域の方の声を届けています。まだ立ち上げて5年ですが、将来誰もが気軽にあいさつを交わせる阿品台になることを願っています。

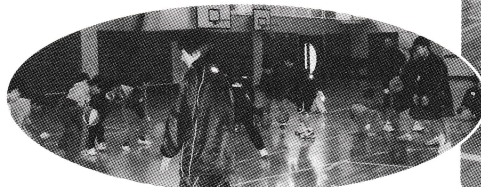


績：〈優勝〉西小学校チーム
中学校チームをおさえて)
優勝〉阿品ファイターズチーム

ミニバスケットボール大会

- とき：平成19年2月17日（土）（午後）1：00～4：30
- ところ：阿品台東小学校・体育館
- 成績：〈優勝〉阿品台東小学校チーム（7名）

暖冬が嘘のような冷たい雨の降る寒い寒い午後でしたが15名の小学生が参加し、阿品台中学校の森脇先生と同校バスケ部員からミニバスケのルール・ドリブル・シュート・いろんなパスの仕方などの実技の指導を受けて練習した後、2チームに分かれて対抗戦を実施しました。



第20回阿品台地区ソフトボール大会

- とき：平成18年11月12日 8：30～
- ところ：阿品台東小学校グラウンド
- 試合方式：参加8チームによるトーナメント
- 成績：〈優勝〉五丁目上チーム 〈準優勝〉三丁目チーム

雲ひとつ無い秋晴れの下、東小学校グラウンドに8町内会のチームが集い、浜崎コミュニティーをすすめる会副会長の始球式をかわきりに真紅の優勝旗をめざして熱戦を繰り広げ、好選手を揃えた五丁目上町内会チームが見事栄冠を勝ち取りました。

料理教室（楽しくクッキング）

- とき：毎月・第3土曜（年間10回）
- ところ：阿品台公民館調理室（午前）9：30～12：30

18年10月 7日（土）～お弁当
18年12月16日（土）～ハヤシライス、サラダ、ケーキ
19年 1月20日（土）～スパゲティミートソース、サラダ
19年 2月17日（土）～サンドイッチ
みんなでワイワイ楽しく素敵な料理を作りました。

登校時のあいさつ運動（年間）

- 毎週水曜日（朝）7：45～8：15

- ①阿品台公民館横・横断歩道
- ②同上 公民館前・陸橋
- ③同上 一丁目横断歩道
- ④阿品から阿品台3丁目への階段
- ⑤阿品公園前
- ⑥Z坂

ふれあい昼食会

- とき：平成18年10月26日（木）9：00～16：00
- ところ：いこいの村ひろしま（安芸太田町深入山）
～樽床ダム観光

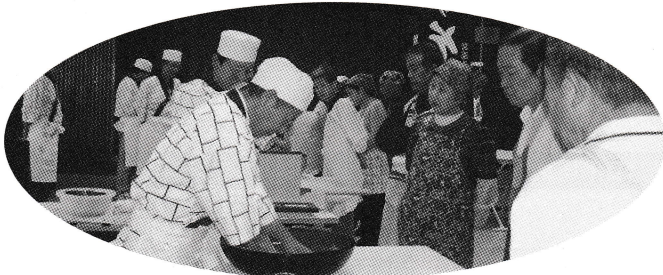
皆さん（参加者62名）と一緒に観光や昼食を取りながら、お話をしたり歌ったりの楽しいひと時を過ごしました。



そば打ち講習会

- と き：平成18年12月17日
- ところ：阿品台公民館

今回はお父さんのためのそば打ち講習会として企画し、宮園の“男の料理クラブ”の皆さんに講習していただきました。ケーブルテレビ局の取材があり、皆さん張り切りながらも初めてのそばのこね方伸ばし方と悪戦苦闘しなんとかおいしいおそばが出来ました。



ドッチボール大会

- と き：平成18年11月3日
(午前) 8:45~12:00
 - ところ：阿品台西小学校・体育館
 - 参加チーム：東・西小学校から2チーム30人、中学校から3チーム30名、合計5チーム60名が参加
- 1セットマッチでの予選リーグ戦10試合、32セットマッチで決勝トーナメント戦4試合の熱戦を展開しました。



●成

く泣

夜回り(子供と一緒に町内パトロール)

- と き：平成18年11月 各土曜日(午後) 5:45~7:30
- 一丁目15名、二丁目3名、四丁目24名(大人も含む)、
五丁目・北一・グランドヒルズ28名 計79名参加

その他の活動報告

- | | |
|-------------|--------------------|
| 平成18年 7月24日 | イタリア料理講習会 |
| 7月28日 | 阿品台サマーコンサート お菓子作り |
| 7月29日 | 阿品台サマーコンサート手伝い |
| 8月22日 | 社会見学 福山鞆の浦・はきもの館下見 |
| 9月20日 | ナスのこうじ漬け講習会 |
| 11月15日 | ジャズとワインのタベの食事試作 |
| 平成19年 1月19日 | 竹下前知事を囲んで 和の遊び |
| 2月27日 | 本場中国の手作り餃子講習会 |

行事紹介
コミュニティーを
すすめる会

ジャズとワインのタベ

- と き：平成18年12月15日
- ところ：阿品台公民館

広島交響楽団のクラリネット演奏者の橋本真介さんとギタリストの徳武正和さんに来ていただき、クラシック・ジャズと素敵な音楽に耳をかたむけ、45名の皆さんでワインに軽食と、一足早いクリスマスを楽しみました。



鞆の浦史跡めぐりとちくわ作り体験

- と き：平成18年10月24日
- ところ：鞆の浦

定員20名のところ44名の応募があり、公民館館長に抽選していただく事になるという嬉しい悲鳴でした。

奥様ガイドのボランティアの方に鞆の浦の史跡を判りやすく説明していただきました。その後、ちくわ作り体験では鯛のすり身を竹の棒にくっつけるとい簡単そうでもむづかしい作業に和気あいあい、それぞれに焼きあがったちくわはご主人へのお土産となりました。



私たちの「交通状況」

私たちの町から毎日仕事に、学校に、買い物にとJR、広電、広電バス等の交通機関のお世話になっていますが、阿品台の人々の利用状況をご存知ですか？そこで各社のデーターを調査・整理してみました。毎日約5千人もの多くの人々が私たちの町からこれ等の交通機関を利用して出かけられていることがわかります。



交通機関の利用状況(1日平均乗客数)												
年度	阿品・阿品台地区								参考(周辺地域)			
	広電				JR		広電バス		宮島・宮島口地区		宮内地区	
	便数	乗客数		便数	乗客数	便数	乗客数	合計乗客数	広電 宮島口駅	JR 宮島口駅	広電 宮内	JR 宮内串戸
		阿品東駅	広電阿品駅		阿品駅		阿品台内					
10年前(平成8年)	—	437	1248	約140	2373	123	802	4860	—	4833	2002	4572
平成13年	269	327	1850	約140	2777	96	1112	6066	2455	3277	1687	4737
平成14年	269	306	1796	約140	2685	95	1086	5873	2423	3301	1652	4644
平成15年	269	304	1810	約140	2770	79	1083	5967	2414	3187	1631	4653
平成16年	269	239	1920	約140	2816	80	994	5969	2319	3018	1553	4708
平成17年	270	—	—	約140	2711	81	1111	—	—	3248	—	4645

注) (1) JR、広電の便数は上下線の合計便数 (2) 広電の乗客数は乗降客数のデーター÷2で算出
 (3) 広電バスの便数は阿品台地区内走行する各バスの合計便数と利用者数 (4) JRの便数は時刻表(H13年とH18年)よりの推定値
 (5) データーは各交通会社より入手

便利の中の不用なもの

昨春秋より「いたずら電話」に悩まされている。夏に光電話に取り替えた。最近増えているらしい海外サーバーを使った不特定多数にかける「いたずら電話」だ。受話器を取ると「ソーソー」と直ぐに切れてしまう。20・30分すると又かかる。日に数回、数日続きおさまったかなと思うと又かかってくる。最初は間違い電話かと気にもとめなかったが、連日続くので通信会社と連絡した。原因がわかるまで数カ月かったが、いまだに改善はされていない。

ある日、近所の奥さん達と話していて「うちもあつたよ」と聞いた。そのお宅は電話会社が通話拒否できるといふことでおさまったそう。

(我が家ではどうしてできないのかわからない) 我が家では、回線終端装置の取り替えから、ブロードバンドルーターの点検、電話機の点検等、一本の「いたずら電話」のために多くの人が動いてくださった。誰が何のためにしているのかわからないが、迷惑この上ない。

足・腰の不自由な方、高齢者の方など同じ思いをされている方がいたら!!



れば本当にやり切れない思いだ。

仕事上、我が家は番号を変えろ訳にもいかず、ディスプレイ上に「いたずら電話」とわかる表示がされた時は出ない様になっているがゆううつな日が続いている。

通信会社は、通話料が安くなるテレビコマーシャルを流すことや、営業の電話をかけてくるよりも、もっとこういつた対策に時間とお金をかけてもらいたいものだ。「いたずら電話」をかけてくる張本人が一番悪いのだが、何とかならないものだろうか？

便利さの中でこんな不用なもの(事)は増えてほしくない。

どこのどなたか知らないけど、不用な事はやめなさい。心通じる対話を私達は望んでいるのですから!!